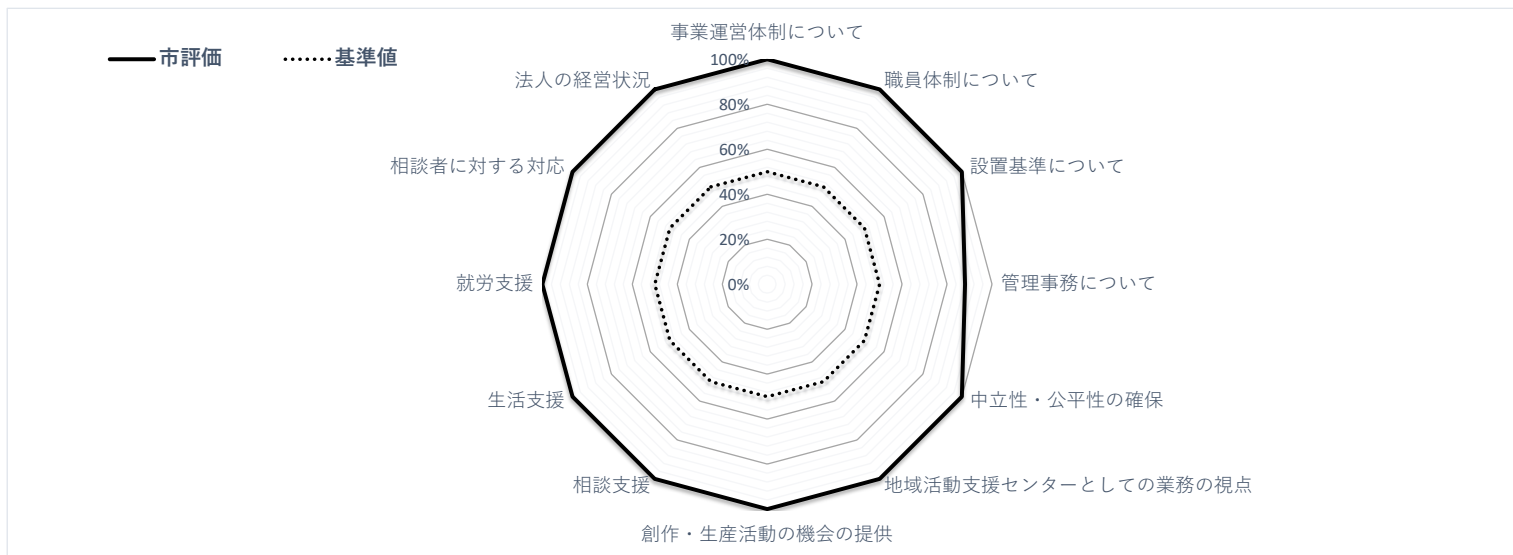


令和7年度 吹田市地域活動支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名:地域活動支援センターりあん

法人名:社会福祉法人コミュニティキャンパス

評価対象年度:令和6年度



※基準値 については、すべての評価項目で△評価の場合(50%)のグラフです。

最終評価結果	
○評価	35
△評価	1
×評価	0

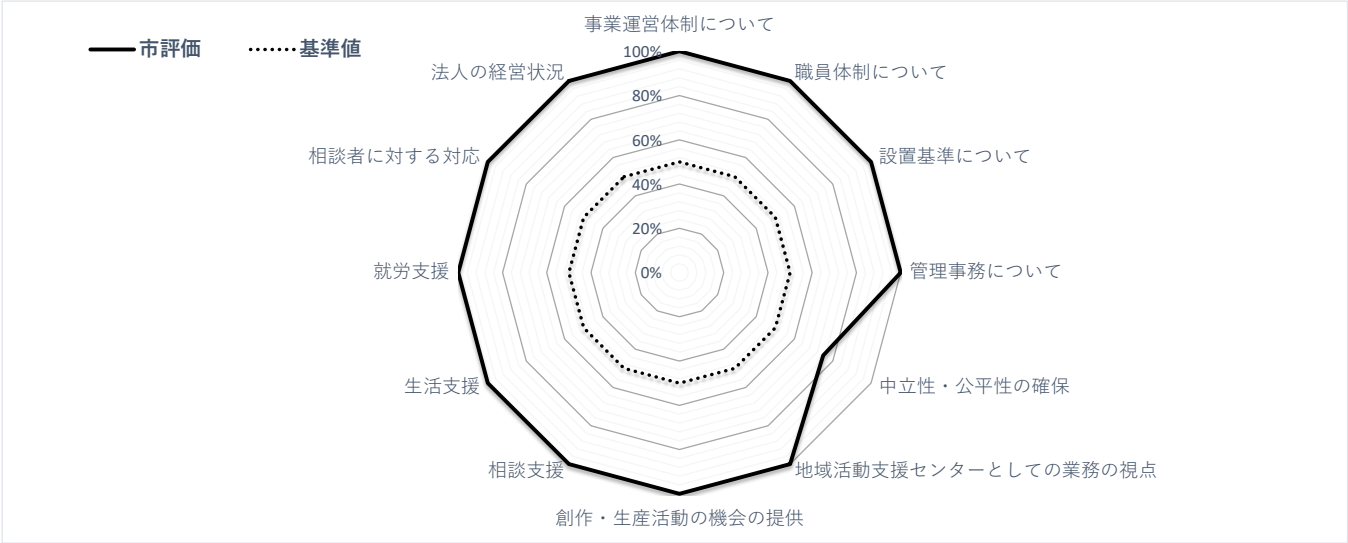
評価に関する市からの総括
①センターの役割 学生等のボランティアを積極的に受け入れ、障がいの理解促進を図るとともに、民生委員や近隣住民と交流し、センターの役割が地域に浸透するように取り組んでいる。センターを地域の社会資源として、広く周知活用していることが評価できる。 ②センターの事業 利用者同士の間わりの中でお互いの障がい理解が進み、利用者自身がまた来たいと思える環境設定が図られている。地域住民、社会福祉協議会、医療機関、学校、警察、障がい福祉サービス事業所等と積極的に連携を図ることにより、利用者のニーズを幅広い支援に結びつけるという独自の工夫をアセスメントに生かしている点が評価できる。 ③改善点 相談記録台帳の項目は、すべての利用者に対して作成がなされていないため△の評価となっている。相談記録の作成、管理方法について改善を期待したい。

評価の基準	
○	事業計画書及び吹田市地域活動支援センター業務委託仕様書を遵守し、利用者の地域活動の場としてのセンターの役割を果たし、適切である。
△	事業計画書及び吹田市地域活動支援センター業務委託仕様書を概ね遵守しているが、利用者の地域活動の場としてのセンターの役割として、一部に課題がある。
×	事業計画書及び吹田市地域活動支援センター業務委託仕様書を遵守しておらず、利用者の地域活動の場としてのセンターの役割として、改善が必要である。

令和7年度 吹田市地域活動支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名:地域活動支援センター赤レンガ
法 人 名:特定非営利活動法人 フルハウス

評価対象年度:令和6年度



※基準値 については、すべての評価項目で△評価の場合(50%)のグラフです。

最終評価結果	
○評価	35
△評価	1
×評価	0

評価に関する市からの総括	
①センターの役割について	吹田市地域自立支援協議会地域会議等に出席し、関連機関との連携を深め地域を取り巻く状況や課題の把握に取り組んでいる。障がい者相談支援センターや公民館、図書館、保健所、男女共同参画センター等にはリーフレットを配架。毎月2～4回程度、施設周辺道路のごみ拾いを行い、地域との協働に取り組んでいる点が評価できる。
②センターの事業	利用者の希望を尊重しながら、複数人での創作活動やゲーム、利用者全員での掃除等共同作業を取り入れることで利用者間での自然な声かけを生み出し、無理なくコミュニケーション力の向上を目指すような活動を多く取り入れている点が評価できる。
③改善点	中立性・公平性の項目は、ホームページに自法人のみリンク出来る形となっていること、センター内に他法人よりも優先した形で自法人のパンフレットが設置されていたため、△の評価となっている。リンクの削除、利用者がより良い選択が行えるように自法人に限らず、利用者が必要とする情報の掲示を行う等で改善予定である。

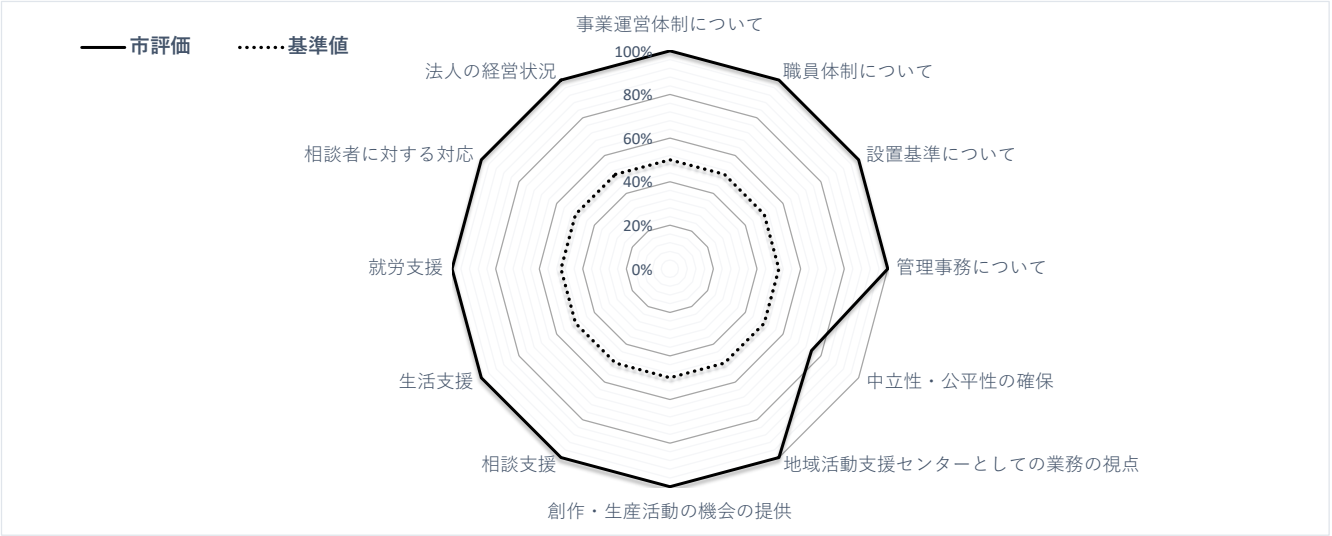
評価の基準	
○	事業計画書及び吹田市地域活動支援センター業務委託仕様書を遵守し、利用者の地域活動の場としてのセンターの役割を果たし、適切である。
△	事業計画書及び吹田市地域活動支援センター業務委託仕様書を概ね遵守しているが、利用者の地域活動の場としてのセンターの役割として、一部に課題がある。
×	事業計画書及び吹田市地域活動支援センター業務委託仕様書を遵守しておらず、利用者の地域活動の場としてのセンターの役割として、改善が必要である。

令和7年度 吹田市地域活動支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名:地域活動支援センタールピア

法人名:特定非営利活動法人 フルハウス

評価対象年度:令和6年度



※基準値 については、すべての評価項目で△評価の場合(50%)のグラフです。

最終評価結果	
○評価	35
△評価	1
×評価	0

評価に関する市からの総括
①センターの役割について 地域の障がい者を取り巻く状況や課題について、法人全体の活動を通じてニーズ把握に努めている。地域の関係機関や地域住民へセンターの認知度が上がれば、今よりも利用者増が図られ、さらに状況を把握することができるため、周知方法の検討に取り組まれたい。
②センターの事業について センターの場所が住宅街の中にあり、周知および利用者数の確保に苦労している様子が伺えるが、行事を工夫したり、個々のニーズに応じたきめ細やかな支援ができている。特に就労希望者に対しては、利用者の希望に合わせて他機関と連携したり、必要なスキルを身に付けることができるように支援を行っており、今後も取組の工夫や継続に期待している。
③改善点 中立性・公平性の項目は、ホームページに自法人のみリンク出来る形となっていること、センター内に他法人よりも優先した形で自法人のパンフレットが設置されていたため、△の評価となっている。リンクの削除、利用者がより良い選択が行えるように自法人に限らず、利用者が必要とする情報の掲示を行う等で改善予定である。

評価の基準	
○	事業計画書及び吹田市地域活動支援センター業務委託仕様書を遵守し、利用者の地域活動の場としてのセンターの役割を果たし、適切である。
△	事業計画書及び吹田市地域活動支援センター業務委託仕様書を概ね遵守しているが、利用者の地域活動の場としてのセンターの役割として、一部に課題がある。
×	事業計画書及び吹田市地域活動支援センター業務委託仕様書を遵守しておらず、利用者の地域活動の場としてのセンターの役割として、改善が必要である。